Quality of Life \star 腔

第313号

Òäė

うか。
今年は酷暑が続き、一○月になっても、今年は酷暑が続き、一○月になっても、 2も多いのではないでしょ 一一月頃から一気に気温ても半袖で過ごす日が多

°免疫力が低下しやすくインフル

効果的ということはご存じですか?ていますが、予防の一つに「お口のケア(口腔ケア)ていますが、予防の一つに「お口のケア(口腔ケア)特に今年は全国的に昨年より一か月ほど早く流行が始ンザの流行も始まります。 始ま _ がつ

そこで今回

1

ン

フ

ル

I

ン

ザ

ح

は

インフルエンザ予防に 効果的な口 一腔ケア

関するお話です

さい

ザウイルスがのどの粘膜に付着することによって感染・態になります。咳やくしゃみなどで飛沫したインフルースなどの侵入を防御する機能が弱まり、罹患しやすい口腔内やのどの粘膜が乾燥することで、ウイに感染することによって起こる病気です。 す。ウイ イン フルエンザ インフル エ ンザウイ B じま エい

ばらくは体力の低下や倦怠感風邪症状などに悩まされまばらくは体力の低下や倦怠感風邪症状などに悩まされまと、つらい症状が続きます。高齢者や持病がある方など、筋肉痛)風邪症状に似た、のどの痛み、鼻水、くしゃみな罹患すると、三八℃以上の発熱、全身症状(頭痛、関節疼罹患すると、三八℃以上の発熱、全身症状(頭痛、関節疼 やみなる

★口腔内細菌がインフルエンザウイルスを増殖させる ?!

潔にする=インフルエンザに罹りにくくする」とやすい環境となります。つまり「口腔内を清内は、口腔内細菌が多くインフルエンザに罹患増殖することがわかっています。不衛生な口腔という酵素を介してインフルエンザウイルスは口腔内細菌が出す「ノイラミニダーゼ(NA)」 いう孝琴とと ニューフィニッド「腔内細菌が出す「ノイラミニダー いうことなのです



ケ ア

ウ

イ

ル

ス

対 策

!

 \star

 \bigstar

腔

ケ

ア

で 寸

3 う !

大

切

な

家

族

*

インフルエンザ発症リスクが

一〇分の

にく

日本予防医学協会 2025. 12 発行 ~ウイルスの増殖を防ぐには 腔ケアには自分で行う で 「セルフケア」と専門家による

「口腔ケア」

が重要

セルフケアとプロケアで、「プロケア」があります。

①自分で行う「セルフケア」 丁寧なブラッシン 口 **ニ腔内を清潔に保ちましょう。**

※特に夜寝る前の歯磨きがポイント三〜五分程度、鏡を見ながら丁寧に磨

※歯間ブラシのサイズはかかりつけ医で確認してくだ用して、しっかり歯と歯の間の汚れを落とす。すことはできないため、フロスや歯間ブラシを使歯と歯のすき間の汚れは、歯ブラシだけでは落としてス(糸ようじ)や歯間ブラシでの歯間清掃



がおする 歯磨剤は高濃度フッフッ素入り歯磨剤の 使用量をごく少量~少量で使用する ※6歳以下のお子様は一〇〇〇p 素使用 四五〇 p m p p 年齢によって \underline{m}

用する。 舌ブラシは、奥から手前に向かって一舌ブラシの使用 ※舌を傷つけないように優しくあてるのがポイント 方通行で使

医での定期的な歯科受診を検討してみてください。 清掃は自分では出来ないので、ぜひ、かかりつけがおすすめです。歯石除去や歯周ポケット内ののがおすすめです。歯石除去や歯周ポケット内のの・歯科医院での歯石除去やクリーニング・歯科医院での歯石除去やクリーニング 0

セルフケアの一つです。
ルエンザにかかりやすくなります。
口腔内の乾燥対策も、
た気が乾燥すると、のどや鼻のバリア機能が低下し、インフ
~お口の乾燥対策~

①適度な水分摂取を心がける

のはサージなどで唾液の分泌を促進させ、お口ッサージなどで唾液の分泌を促進させ、おり自浄作用や抗菌作用などウイルスや細菌の侵入唾液にはお口の健康を守る多くの役割があり、**②唾液の分泌を促進させる** の乾燥対策をしましょう , o.v



であり、お口の中を清潔に保つことが感染の「入口対策」に インフルエンザウイルスの感染を助ける酵素である「人 か、インフルエンザウイルスの感染を助ける酵素である「人 か、インフルエンザウイルスの感染を助ける酵素である「人 か、インフルエンザ発症リスクが一○分の一に抑えられたと報 されています。その調査では口腔内の細菌数が減少したほ れたこともわかりました。

なるのです。

誤嚥性肺炎の予防にもつながります。口腔ケアはインフルエンザに限らず、 新型コ ロナウイルスや

最 後 に

ださや歯間清掃は て口腔ケアも感染対らいものです。 手洗い、らいものです。 手洗い、

0

今年の



https://www.gov-online.go.jp/article/200909/entry-8422.html(最終閲覧日:2025 年 11 月 11 日) 政府広報オンライン

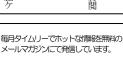
WEB で学ぶ、歯と口の学校 歯の学校 2025Vol.81 https://www.jda.or.jp/nanogakko/vol81/number.html(最終閲https://www.jda.or.jp/nanogakko/vol81/number.html(最終閲https://www.jda.or.jp/nanogakko/vol81/number.html(最終閱https://www.jda.or.jp/nanogakko/vol81/number.html(最終閱https://www.jda.or.jp/nanogakko/vol81/number.html(最終閱https://www.jda.or.jp/nanogakko/vol81/number.html(最終閱https://www.jda.or.jp/nanogakko/vol81/number.html(最終閱https://www.jda.or.jp/nanogakko/vol81/number.html(最終閱https://www.jda.or.jp/nanogakko/vol81/number.html(最終閱https://www.jda.or.jp/nanogakko/vol81/number.html(最終閱https://www.jda.or.jp/nanogakko/vol81/number.html(是終閱https://www.jda.or.jp/nanogakko/vol81/number.html(是終閱https://www.jda.or.jp/nanogakko/vol81/number.html)

日本歯科医師会 「口腔ケアで免疫力アップ」「インフルエンザ予防と歯周病菌」

、健康な心と身体は口腔から―高齢者呼吸器感染予防の口腔ケ日本歯科医学学会誌:25,27-33,2006.]・日本歯科医学学会誌:25,27-33,2006.]

https://www.jspd.or;jp/recommendation/article19/最終閲覧日:2025 年 11 月 11 日) 4学会会自のフッ化物配合歯磨剤の推奨される利用方法公益社団法人日本小児歯科学会

,,,<u>,</u>,



健康づくりかわら版









